



# 組立 / 取扱説明書

働く人の道具をすっきりきれいに格納する車載ラック

## ワーカーゴ-®

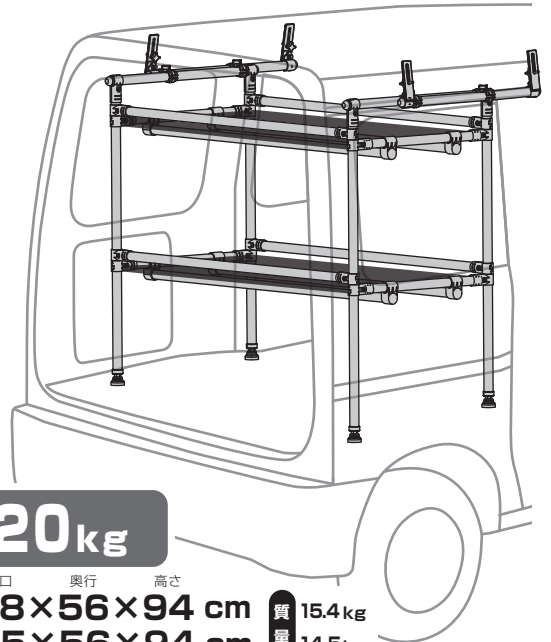
軽商用車用車載ラック

**WORCARGO®**

品番 WCG-E D2  
WCG-H D2

### 目次

- 組立作業上のご注意 ● p 1
- 使用上のご注意 / 設置上のご注意 ● p 2
- ワーカーゴ-「本体」の組立手順 ● p 3
- 車体への取付手順 ● p 6
- 棚板の取付手順 ● p 9



1棚当たり  
最大積載質量 **20kg**

	間口	奥行	高さ	質量
WCG-E D2	118	56	94	15.4kg
WCG-H D2	105	56	94	14.5kg

※ 取付位置が車種により違うため、本書内の図と実物が異なる場合がありますが、車体の取付孔に合わせて取付けを行ってください。

- 警告** 誤った使用をされた場合「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。
- 注意** 誤った使用をされた場合「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。
- 必ず守る** 必ず守っていただきたい内容を説明しています。

### ！組立作業上のご注意

「イレクター」の組立は、「パイプ」と「プラスチックジョイント」の連結部分に付属のイレクター専用「サンアロー接着液」を注入する固定と、「メタルジョイント」のボルト・ナット締め固定があります。

#### 警告

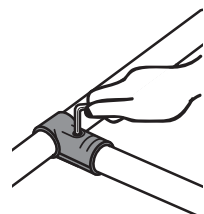
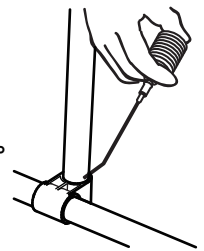
- **接着作業は室内で行わない。**  
イレクター専用「サンアロー接着液」は、パイプとプラスチックジョイントを接着するために有機溶剤を使用しています。換気の悪い室内（車内）で接着作業を行いますと、気分が悪くなり有機溶剤中毒となるおそれがありますので、接着作業は室内で行わないでください。やむをえず室内で作業をする場合は、十分な換気を行い、臭いがない状態を継続し安全であることを確認しながら作業をしてください。
- **「接着」、「ボルト締め」を忘れない。**  
パイプとプラスチックジョイントの連結部分は必ず接着し、メタルジョイントは必ずボルトをしっかり締めてください。使用時に外れて破損するおそれがあります。「ワーカーゴ-」のご使用前には、全て固定されているかを確認してからご使用ください。

#### 注意

- **パイプの切り口に触れない。**  
パイプ切り口の内側は、バリが出て刃物のようになっていますので、指を入れたり、手のひらで押しつけてパイプや手を回転させないでください。切傷を負うおそれがあります。

#### 必ず守る

- **組立前には、パイプとジョイントをきれいにふいてください。**  
接着強度を得るため、接着部のほこり・水・油などの汚れをふき取ってから組み立ててください。
- **パイプとジョイントはしっかり連結してください。**  
寸法通りに組み立てるため、パイプはジョイントの奥までしっかりはめ込み、ねじれや傾きがないように連結してください。
- **プラスチックジョイントの接着は必ず付属のイレクター専用の「サンアロー接着液」を使用してください。**  
接着液に付属の「取扱上のご注意」をよく読んでから使用してください。「サンアロー接着液」以外の接着液・接着剤は使用できません。また、他の接着液を使用して組み立てた場合の強度は保証できません。
- **接着液は、ていねいに注入してください。**  
接着強度を得るため、接着液は、接着面に均一に注入し、あふれないように注意してください。接着液があふれた場合は、他との接触に注意し、ふき取らずに自然乾燥させてください。
- **接着後は、はずれません。よく確認してから接着してください。**  
接着液は乾燥するとはずれません（剥離剤等もありません）ので、ジョイントの向きをよく確認してから接着を行ってください。
- **プラスチックジョイント1ヶ所当たりの接着液量は、約0.7mlを目安として考えてください。**  
ジョイントの種類によって異なりますが、1ヶ所当たりの接着液量は、約0.7mlを目安として考えてください。スポイト半分（約12ヶ所）接着できます。
- **注入直後は、動かさないようにしてください。**  
接着液は、速乾性ですが、注入直後はパイプが抜けたり、全体がねじれる場合がありますので、15分は動かさないでください。完成後は接着強度を得るため24時間以上静置した後、使用してください。接着液の臭いが気になるときは十分に換気してください。
- **メタルジョイントの固定は、必ず付属のメタルレンチでボルトを締めてください。**  
組立・設置の最後には必ず増締めしてから使用してください。
- **ボルトは下記の指定締め付けトルクで締めることを推奨します。**  
ボルト・ナットのゆるみや構造物に歪みがないかなど、定期的に点検を行ってください。



◎指定締め付けトルク **M6ボルト： 9.8N・m {100kg・cm}**

## ！使用上のご注意

### 警告

- 荷物を載せる車載ラックの用途以外の目的で使用しない。  
踏み台にするなど人が乗ったり、子供の遊具にすることはしないでください。
- 棚の耐荷重(1棚あたり20kg)を超える積載はしない。  
耐荷重を超えた使用時での強度の保証はできません。
- 運転の視界を遮断するような積載はしない。  
荷物が運転の妨げとならないように、視界を確保して積載してください。
- 棚と棚の間に頭を入れたり、棚と車両のすき間に指や手足を入れない。  
すき間に体をはさんでケガをする原因となります。

### 注意

- 棚や荷物が濡れた状態のまま積載しない。  
荷物が滑って落下したり、棚に錆が発生する原因になります。棚、荷物の水気は拭き取って使用してください。
- 荷物の長期積載はしない。  
荷物と棚の接触部分の色移りや変色が発生する可能性があります。
- 荷物は、乱雑に積載しない。  
上段には軽い物、下段には重い物を載せる、左右に片寄りが無いように載せるなど、荷物は整理してバランスよく積載してください。また、荷物が棚から飛び出さないようにベルト等で固定してください。
- 高温になった車内で金具部品に触らない。  
高温になった車内で金具部品に触れて火傷をしないように注意してください。
- 製品に異常を見つけたまま使用を継続しない。  
正しく設置取付できない場合や、棚の機能を損なう状態の場合は、直ちにご使用を中止してください。

### 必ず守る

- 定期的にガタつき、ねじのゆるみがないことを確認してください。
- 棚設置直後に接着液の臭いがある場合は、十分に換気を行ってください。

## ！設置上のご注意

### 警告

- ワーカーゴーと他社製品を組み合わせない。  
破損やケガの原因となります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
- 改造・加工は絶対に行わない。  
破損や事故の原因となります。

### 注意

- 適合車種以外の車両に設置しない。  
右記の適合車種以外の車両に設置した場合の強度や安全性は保証できません。
- ボルトは指定締付けトルク以上で締めない。  
ボルトの標準締付けトルクは、9.8N・m(100kg・cm)です。過剰トルクで締付けるとボルトの破損の原因となります。
- 車体とワーカーゴー本体を固定しているノブボルトを無理に締め込まない。  
ねじ穴に沿って締め込まないと、車体側のねじ穴の破損の原因となります。

#### ワーカーゴー適合車種

品番・WCG-E D2		品番・WCG-H D2	
スズキ	エブリイ (2015年2月～)	ダイハツ	ハイゼットカーゴ (2007年12月～)
日産	NV100クリッパー (2015年3月～)	トヨタ	ピクシスバン (2011年12月～)
マツダ	スクラムバン (2015年3月～)	スバル	サンバーバン (2012年4月～)
三菱	ミニキャブバン (2015年3月～)		

◎ハイルーフ、ユーティリティネット搭載車両 ◎ハイルーフ、ユースフルネット搭載車両  
◎標準ルーフ車には取付不可 ◎標準ルーフ車には取付不可


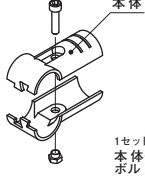
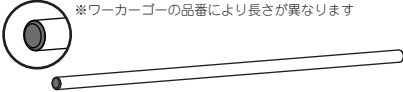


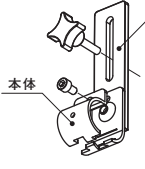

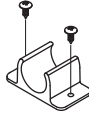




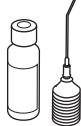
### 必ず守る

- 本体の完成後は、接着強度を得るため24時間静置した後に車体への取付けを行ってください。
- 設置は、荷室の掃除をしてから行ってください。
- ワーカーゴー本体には棚板を必ず取付けてください。  
弊社別売の棚板をお買い求めいただくか、合板をご用意ください。
- 棚板は、付属の「板止めジョイント(J-46)」を使用し、必ず接着してください。
- 設置後のガタつき、ボルトやねじのゆるみ、締め忘れ、接着忘れがないことを必ず確認してください。

# ワーカーゴー「本体」の組立手順

## 1. 部品がそろっていることを確認してください。

ワーカーゴー 構成部品表

部品名	数	形状	部品名	数	形状
① 棚パイプ	4	※ワーカーゴーの品番により長さが異なります  品番: WCG-E D2 パイプ長さ (1165 mm)   品番: WCG-H D2 パイプ長さ (1036 mm)	⑦ メタルジョイント (HJ-1)	20	 1セット構成部品 本体……………2個 ボルトナット…1組
② 長手パイプ (キャップ付)	4	※ワーカーゴーの品番により長さが異なります  品番: WCG-E D2 パイプ長さ (1069 mm)   品番: WCG-H D2 パイプ長さ (940 mm)	⑧ メタルジョイント (ノブボルト付)	4	 1セット構成部品 本体……………1個 本体(ナット有)…1個 ノブボルト……………1個
③ 短手部品	4		⑨ 固定金具部品 (ノブボルト付)	4	 1セット構成部品 本体(長孔有)…1個 本体……………1個 ノブボルト……………1個 ボルト……………1個
④ 脚部品 (アジャスター付)	4		⑩ 板止めジョイント (J-46)	8	 取付孔φ4.4mm×2 ※ねじは付属していません
⑤ 車体連結パイプ A (582mm)	2		— ステッカー	1	
⑥ 車体連結パイプ B (544mm)	2		— メタルレンチ	1	
			— サンアロー接着液 (15ml)	1	

材 質：イレクターパイプ(プラスチック被覆スチールパイプ)、プラスチックジョイント、メタルジョイント(鉄)  
カラー：ブラック

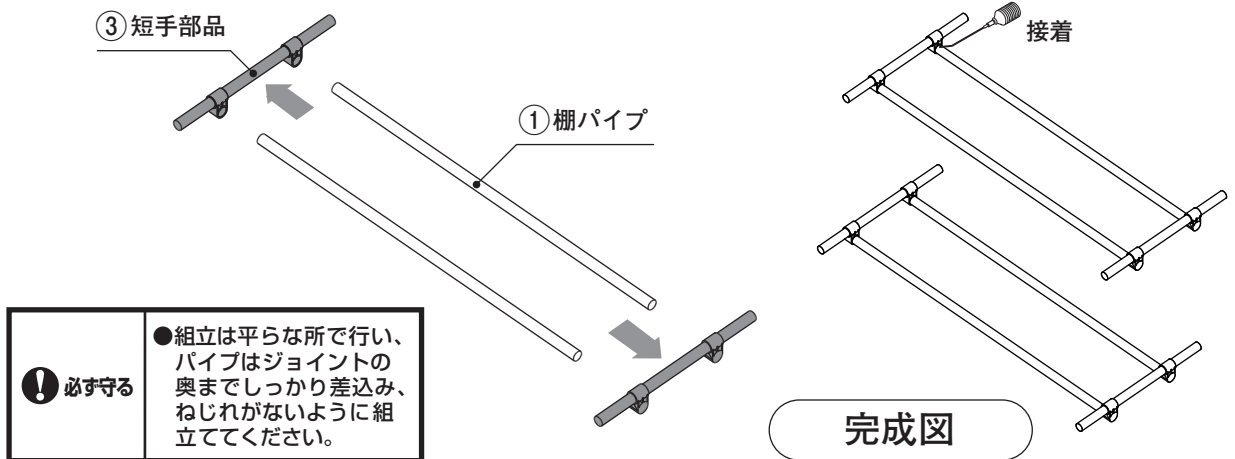
- 「ワーカーゴー」は2品種あります。タイプにより部品①、部品②のパイプの長さが異なります。お客様がお買い求めの品番をご確認の上、部品がそろっていることをご確認ください。
- 本製品には棚板は付属しておりません。弊社別売の「棚板」をお買い求めいただくか、または合板などをご用意いただき、部品⑩「板止めジョイント(J-46)」で取付けてください。棚板の取付けに関する詳細は、「p9～」をご覧ください。
- 輸送時にパイプ同士が擦れあい白い粉が発生していることがありますが品質や性能に問題はありません。

# ワーカーゴー「本体」の組立手順

前ページからのつづき

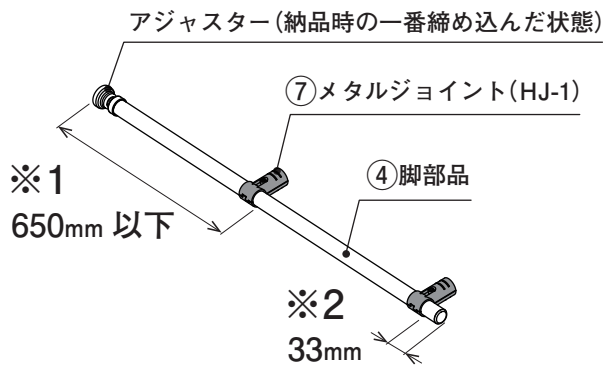
## 2. 「棚」を2セット製作します。

2-1. 「③短手部品」に「①棚パイプ」を差し込んで、パイプとプラスチックジョイントの連結部分に付属の「サンアロー接着液」をスポイトで注入して接着してください。同じものを2セット製作してください。



## 3. 前後の「長手枠」を2セット製作します。

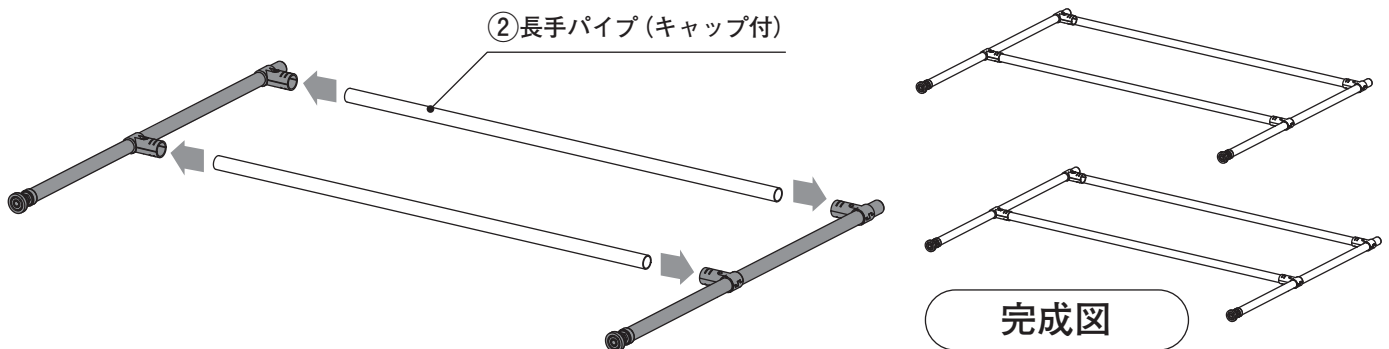
3-1. 「④脚部品」に「⑦メタルジョイント(HJ-1)」2個を下のような寸法位置にセットして、付属のボルト・ナットで仮止めしてください。同じものを4本製作してください。



左図の「※1」寸法は、「ワーカーゴー」の下段の棚高さになります。650mm以下の範囲で好みの高さに取り付けてください。

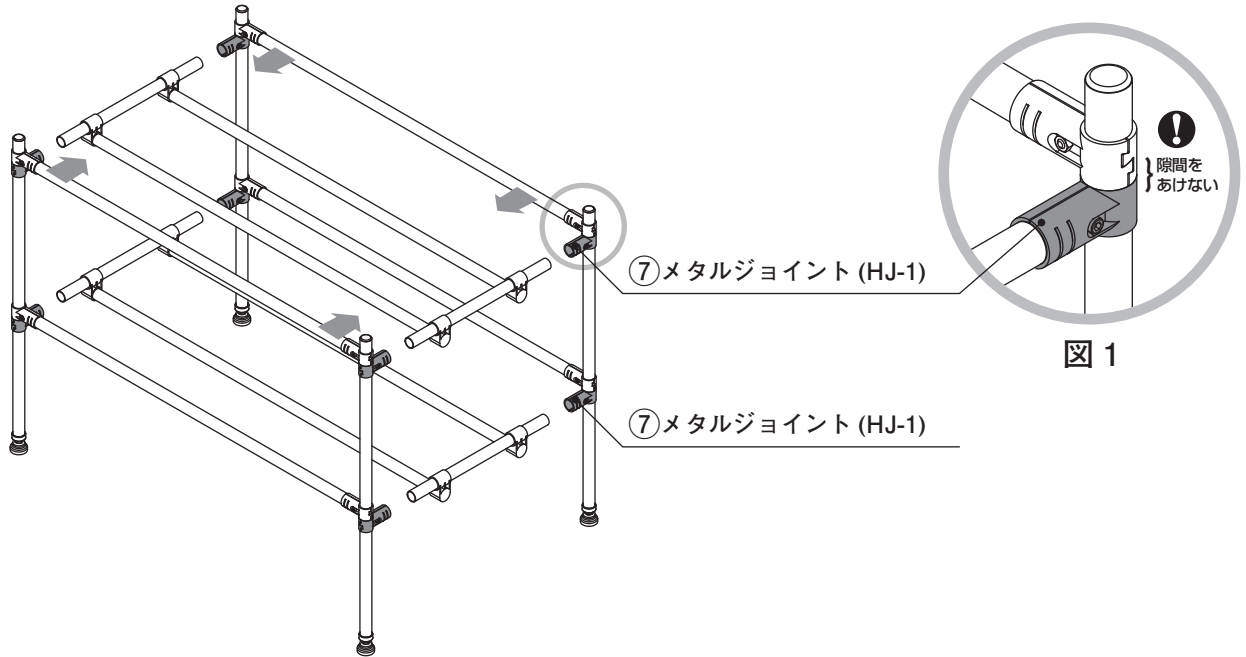
- |               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| <b>❗ 必ず守る</b> | ●「※1」寸法は、必ず650mm以下に取り付けてください。 |
|               | ●「※2」寸法は、必ず33mmの位置に取り付けてください。 |

3-2. 前項で製作した脚に「②長手パイプ(キャップ付)」を差し込んで、ボルト・ナットでしっかり締め付けてください。「長手枠」は同じものを2セット製作してください。



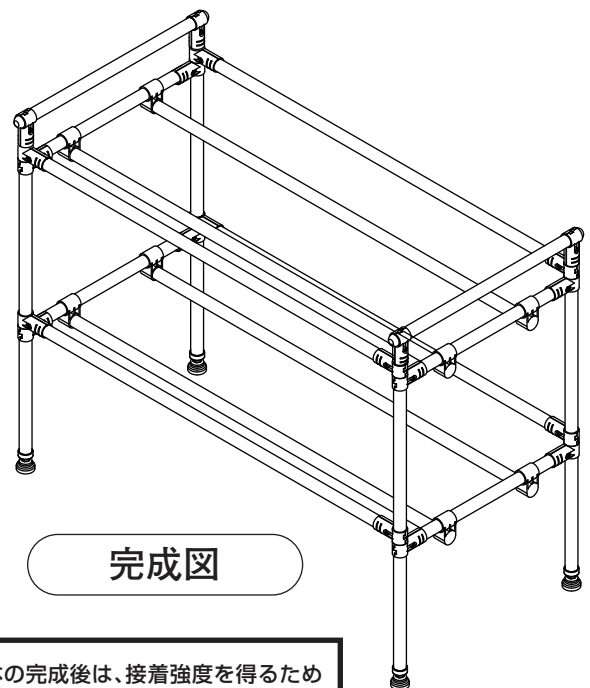
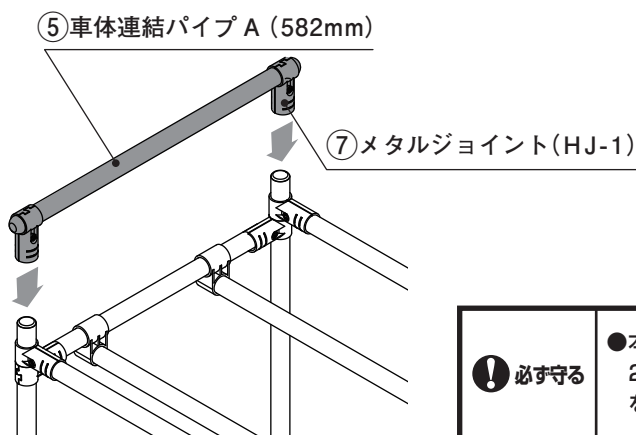
## 4. 「棚」と「長手 枠」を連結します。

4-1. 前項で製作した「棚」と「長手 枠」を「⑦メタルジョイント (HJ-1)」を使い、下のようにセットして、ボルト・ナットでしっかり締付けてください。新たに取付ける「⑦メタルジョイント (HJ-1)」は、(図1)のように上のメタルジョイントと隙間をあけずに取付けてください。



## 5. 「⑤車体連結パイプ A (582mm)」を連結してワーカーゴー「本体」の完成です。

5-1. 「⑦メタルジョイント (HJ-1)」を使い、「⑤車体連結パイプ A (582mm)」を下のようにセットして、ボルト・ナットでしっかり締付けてください。  
以上でワーカーゴー「本体」の完成です。



必ず守る

●本体の完成後は、接着強度を得るため24時間静置した後に車体への取付けを行ってください。

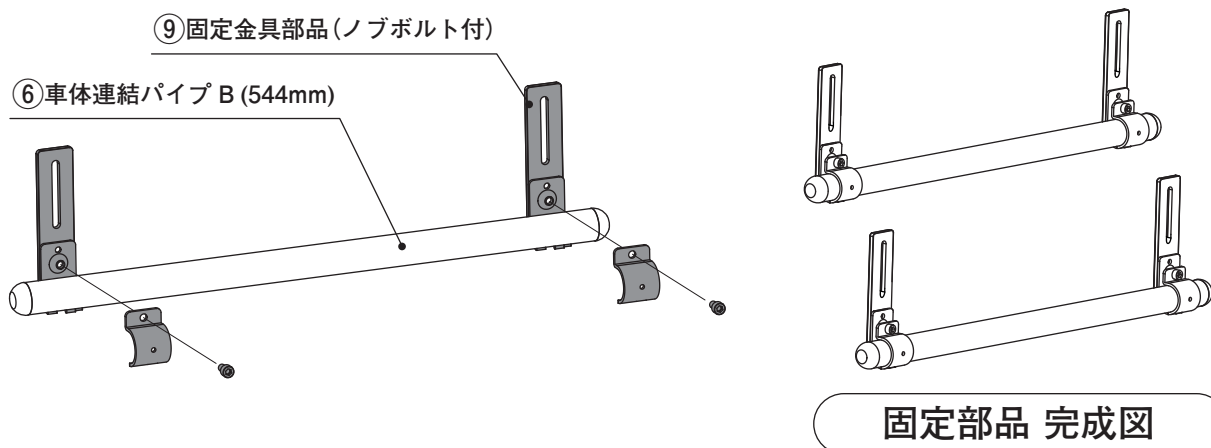


# 車体への取付手順

## 6. 固定部品を車体に取り付けます。

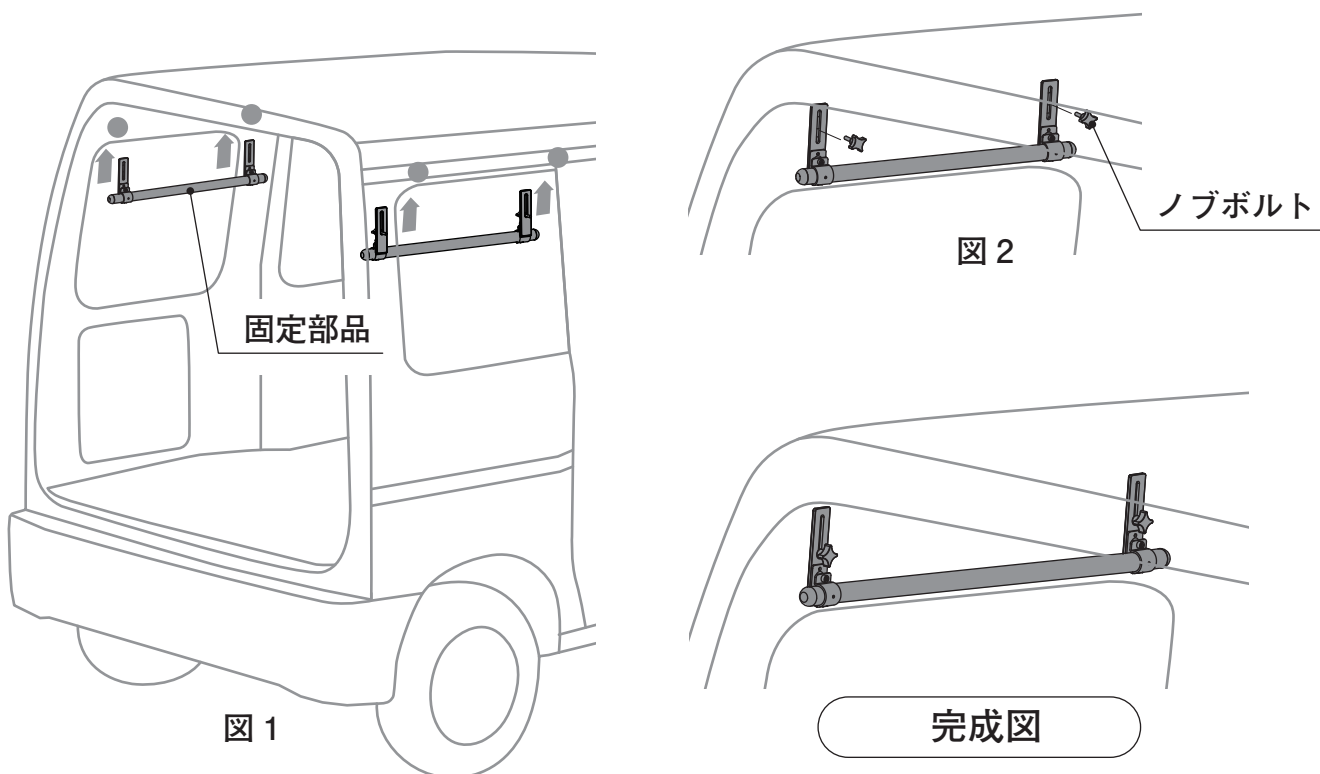
6-1. 「⑨固定金具部品(ノブボルト付)」を「⑥車体連結パイプ B(544mm)」に2個取付けて、ボルトで仮止めしてください。このとき「⑨固定金具部品(ノブボルト付)」は、車体の取付孔のピッチに合わせて仮止めしてください。

完成した部品をこれ以降「固定部品」と呼びます。「固定部品」は2セット製作してください。



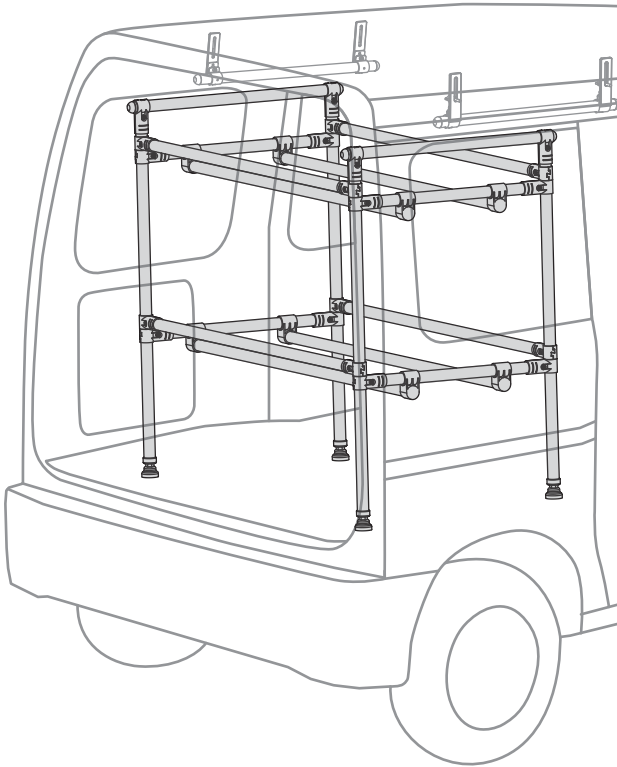
6-2. 前項で製作した「固定部品」を(図1)のように、車体の取付孔の位置に合わせて取付けてください。(車体の取付孔に保護キャップがしてある場合は外してください。)

取付けは、(図2)のようにノブボルトで仮固定してください。左右両側に取付けてください。



## 7. ワーカーゴの「本体」を車体へ固定します。

7-1. まず 5. で完成した「本体」を車体の荷台にセットしてください。



7-2. 「本体」の水平出しとガタつきをアジャスターで調整してください。

7-2-1. ゴム部分を右に回すとアジャスターが伸び、高さが高くなります。適切な位置に調整してください。



アジャスターの調整範囲は50ミリです。

7-2-2. 調整が終わったら、スパナでナットを上締め、アジャスターの回り止めをしてください。



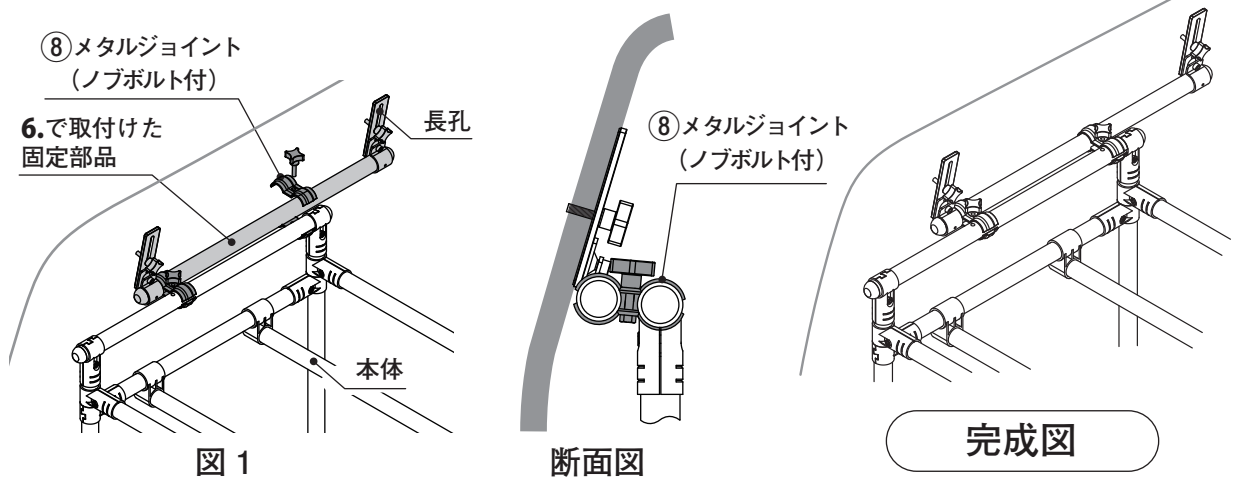
ナットを上締めして固定する。



**注意**

●アジャスターの高さが決まったら、必ずナットを締め、回り止めをしてください。(使用スパナ 17mm)

7-3. 「本体」と 6. で取付けた「固定部品」を「⑧メタルジョイント(ノブボルト付)」で連結してください。(図1) 「固定部品」の金具の長孔で微調整しながら「本体」と「固定部品」を「⑧メタルジョイント(ノブボルト付)」で連結し、全てのノブボルトをしっかり締めて固定してください。



⑧メタルジョイント  
(ノブボルト付)

6. で取付けた  
固定部品

長孔

本体

図 1

⑧メタルジョイント  
(ノブボルト付)

断面図

完成図

※ 取付位置が車種により違うため、本書内の図と実物が異なる場合がありますが、車体の取付孔に合わせて取付けを行ってください。



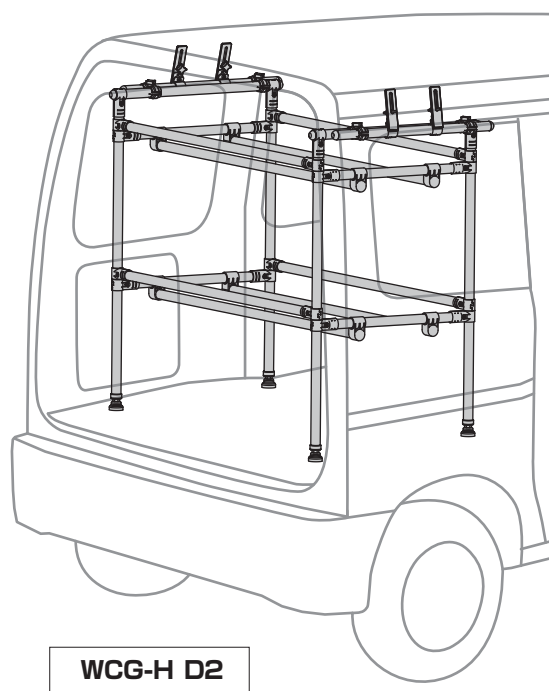
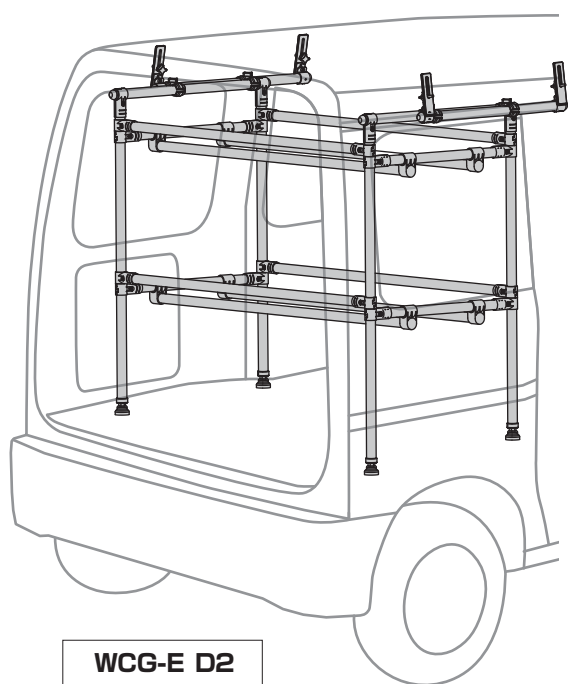
**注意**

●断面図のように、メタルジョイントがパイプ2本をしっかりはさんでいることを確認してノブボルトを締めてください。

## 8. 固定の最終確認を行い、車体への取付けが完了です。

8-1. すべてのボルト・ノブボルトがしっかり締まっているか、またフレームをつかんで前後左右に動かして棚のガタつきや取付不備がないことを最終確認してください。

以上でワーカーゴ-「本体」の車体への取付けが完了です。次の項の手順に沿って、必ず「棚板」を取付けてから実使用してください。



### 車体取付完成図

※ 取付位置が車種により違うため、本書内の図と実物が異なる場合がありますが、車体の取付孔に合わせて取付けを行ってください。



# 棚板の取付手順

## 9. 棚板を用意してください。

9-1. 棚板は付属しておりません。弊社別売の「棚板」をお買い求めいただくか、合板をご用意ください。また、棚板の取付けには、付属の「⑩板止めジョイント(J-46)」を使用してください。

弊社別売の「棚板」をお買い求めいただく場合は、以下からお選びください。

ワーカークー 品番	棚板 品番 (1枚入)
WCG-E D2	WCG-ET
WCG-H D2	WCG-HT

ホームセンター等で合板をお買い求めいただく場合は、以下のサイズをご用意ください。

ワーカークー 品番	棚板 サイズ
WCG-E D2	1090 × 484 × 厚さ 9mm
WCG-H D2	960 × 484 × 厚さ 9mm

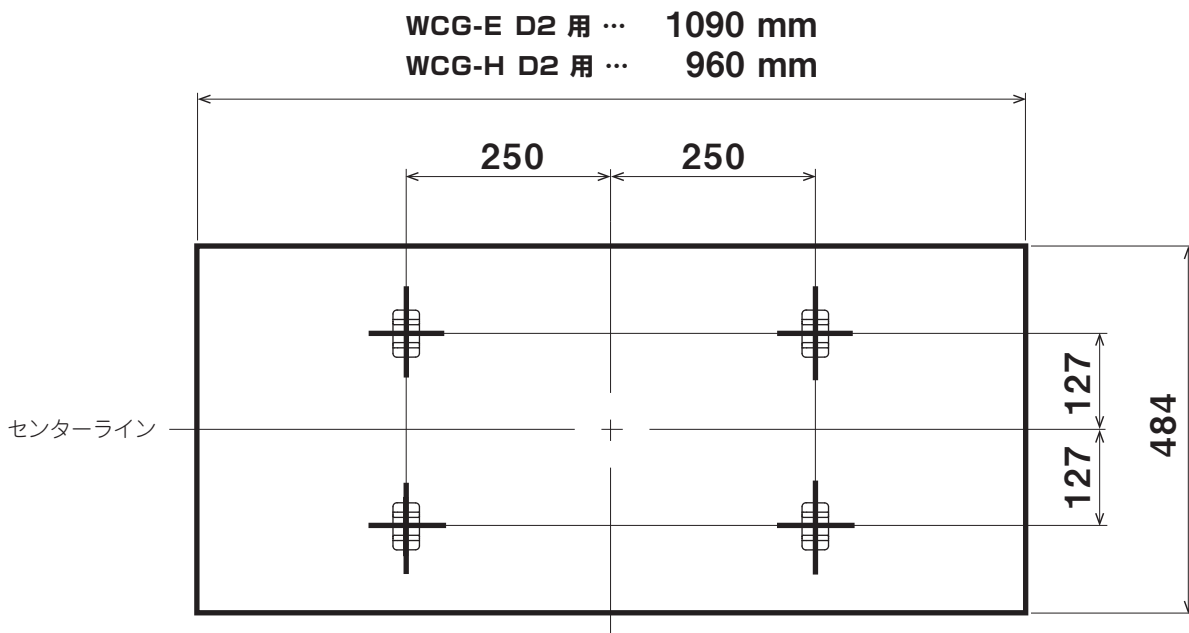
棚板の取付けには、付属の「⑩板止めジョイント(J-46)」を使用してください。

⑩板止めジョイント (J-46)	 <p>取付孔 <math>\phi 4.4\text{mm} \times 2</math> ※ねじは付属していません (推奨ねじ：十字穴付きタッピンねじ1種なべ4×10)</p>
------------------	--

# 棚板の取付手順 前ページからのつづき

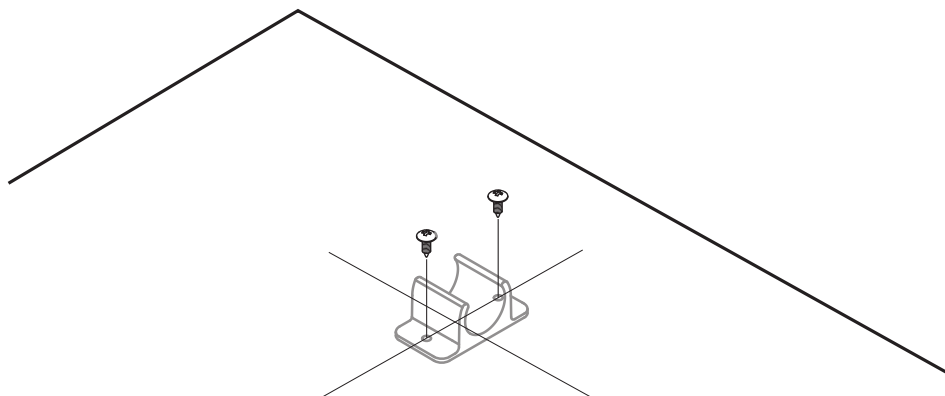
## 10. 棚板に「板止めジョイント」の取付位置を罫書きます。

10-1. 用意した棚板の裏面に、付属の「⑩板止めジョイント(J-46)」の取付センター位置を罫書きます。



## 11. 板止めジョイントを取付けます。

11-1. 罫書き位置に合わせて、「⑩板止めジョイント(J-46)」をねじで取付けてください。



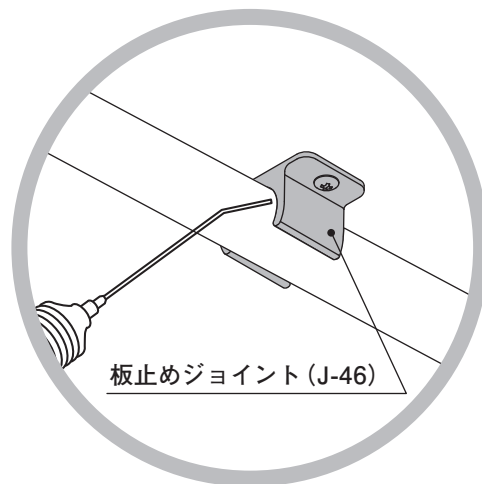
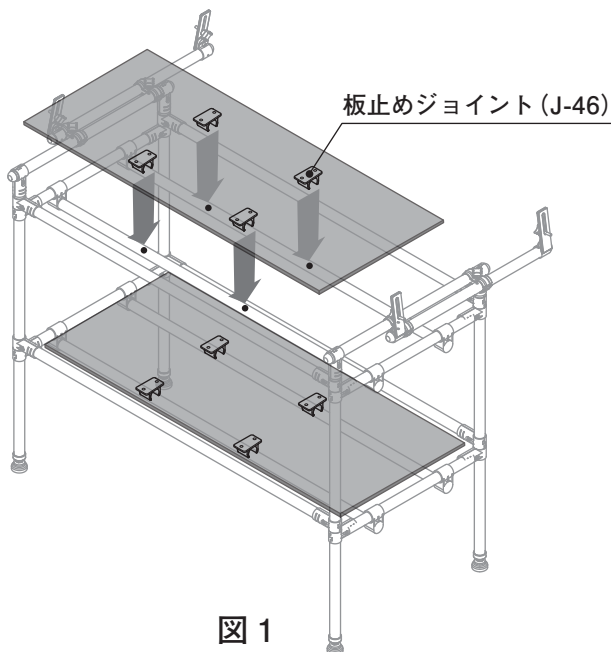
**注意**

- ねじは「十字穴付きタッピンねじ 1種 なべ 4×10」を推奨します。
- ねじは、ねじ穴に対してまっすぐ締付けてください。
- 電動工具は使用しないでください。過剰トルクにより部品を破損させるおそれがあります。

## 12. 棚板を本体に取付けます。

12-1. 「板止めジョイント(J-46)」をはめ込むように、本体のフレームに棚板を取付けてください。(図1)

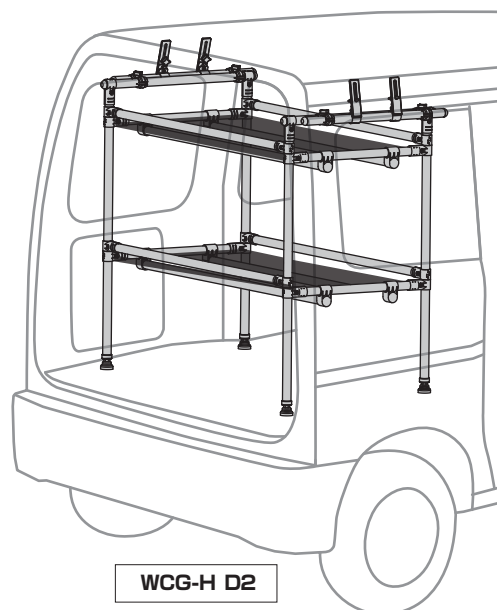
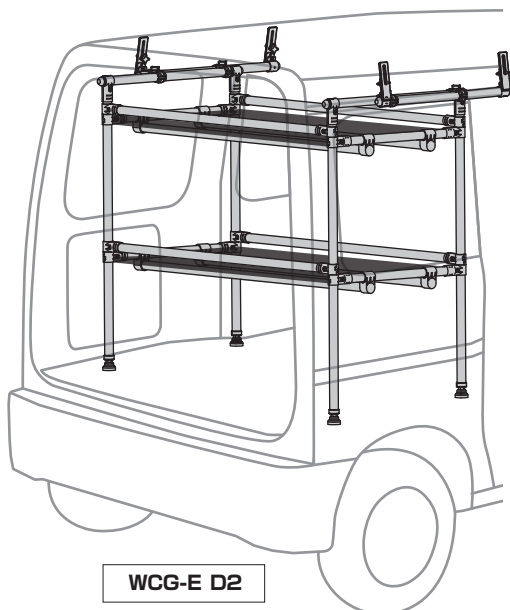
12-2. 「板止めジョイント(J-46)」を接着して固定してください。(図2)



## 組立・取付の完了

## 13. 以上で「ワーカーゴ」の組立・取付はすべて完了です。

13-1. 「! 使用上のご注意」(p2)をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。



# ワーカージョー®

軽商用車用車載ラック

**WORCARGO®**

WCG-E D2 / WCG-H D2

● 矢崎化工株式会社

■ 本社

〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1

お客さま相談室

☎ 0120-054-280 FAX 0120-054-281

● フリーダイヤル 9:00~16:00 (月~金) ● FAX 24時間毎日

E-mail [cus2consul@yazaki.co.jp](mailto:cus2consul@yazaki.co.jp)



外装袋: PE

19071911

DE-199-01